

アメリカ教育学会 第 29 回大会プログラム

2017(平成 29)年 10 月 28 日(土)

会場:愛知教育大学・教育未来館

The 29th Annual Conference of Japan Association of American Educational Studies

Oct 28, 2017



アメリカ教育学会第 29 回大会準備委員会

〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢 1

愛知教育大学

後援:愛知教育大学・名古屋市教育委員会・愛知県教育委員会



国立大学法人
愛知教育大学

自由研究発表 I <教育歴史・哲学>

【司会】中野 真志(愛知教育大学) 松下 晴彦(名古屋大学)

・9:20~9:25 開会

9:25~9:50

- 1) 角谷 亮太郎(東京学芸大学大学院)
塚原 健太(帝京大学)

「近代日本におけるゲーリー・プラン情報の普及」

9:50~10:15

- 2) 岡田 直俊(愛知教育大学大学院)

「シカゴ学院附属小学校における教師の実践についての研究」

10:15~10:40

- 3) 植松 千喜(東京大学大学院)

「フレイレの受容から見たアイラ・ショアの位置づけ」

10:40~11:05

- 4) 宮野 尚(東京学芸大学大学院)

「近代日本におけるウィネットカ・プラン情報の普及」

11:05~11:30

- 5) 松下 晴彦(名古屋大学)

「ブラックマウンテン・カレッジの挑戦とデューイのリベラルアーツ論」

・11:30~12:00 総括

自由研究発表Ⅱ <学校経営・法制度>

【司会】加藤 幸次(上智大学名誉教授) 八尾坂 修(九州大学名誉教授)

・9:20~9:25 開会

9:25~9:50

1) 奴久妻 駿介(一橋大学大学院)

「サンフランシスコ内インターナショナルスクールと米国公教育システムの共通性に関する一考察 -アレントの『識別』を手掛かりに-」

9:50~10:15

2) 田中 耕太郎(愛知県実践教育研究会)

「アメリカにおけるチーム学校」

10:15~10:40

3) 末藤 美津子(東洋学園大学)

「カリフォルニア多言語教育法の成立」

10:40~11:05

4) 小島 佐恵子(玉川大学)

「米国の大学における財政困難とその学内への影響-学生支援職を例に-」

11:05~11:30

5) 橋本 昭彦(国立教育政策研究所)

「学校改善のための学校評価プロセス-ワシントンD.C. 教育省の取組-」

・11:30~12:00 総括

自由研究発表Ⅲ<カリキュラム/授業・学力/評価>

【司会】浅田 知恵(愛知教育大学) 趙 卿我(愛知教育大学)

・9:20~9:25 開会

9:25~9:50

1) 宮本 浩紀(信州豊南短期大学)

「向社会性育成プログラムに関するアセスメントの枠組み

—アメリカ道德教育におけるエビデンス産出の現実と課題—

9:50~10:15

2) 小林 祐也(関西大学)

「B.K.バイヤーの思慮深い授業からみた思考指導方略」

10:15~10:40

3) 新谷 龍太郎(平安女学院大学短期大学部)

「米国のカリキュラム改革における学力保障の実態」

10:40~11:05

4) 森 久佳(大阪市立大学)

「全米学力調査(NAEP)の特色と今日的課題」

11:05~11:30

5) 安藤 輝次(関西大学)

「グローバル教育再考」

・11:30~12:00 総括

10月28日(土)

9:20~12:00

302: 講義室 3A

自由研究発表Ⅳ<教員評価・教師教育>

【司会】赤星 晋作(広島市立大学) 浅沼 茂 (立正大学)

・9:20~9:25 開会

9:25~9:50

1) 藤村 祐子(滋賀大学)

「米国教員評価制度の法的原理と運用実態
~教員評価指標をめぐる訴訟事例の分析を中心に~」

9:50~10:15

2) 伊東 一誉(東京学芸大学大学院連合学校)

「ニューヨークにおける美術教育の開発とアーティスト・ティーチャー」

10:15~10:40

3) 成松 美枝(聖隷クリストファー大学)

「ウィスコンシン州の教員評価に関する考察」

10:40~11:05

4) 風間 邦治(特定非営利活動法人 国際教育事情研究会)

「ドイツの教育事情とその環境に関する一考察ーアメリカ教育と比較してー」

11:05~11:30

5) 黒田 友紀(日本大学)

「マインドフル・ティーチング(mindful teaching)と教師の専門性の向上」

・11:30~12:00 総括

10月28日(土)

9:20~12:00

307: 講義室 3C

自由研究発表V <教育実践全般>

【司会】倉本 哲男(愛知教育大学) 磯部 征尊(愛知教育大学)

・9:20~9:25 開会

9:25~9:50

1) 鶴浦 裕(文京学院大学)

「バイブル・イシューとしての『創造 vs 生物進化』論争」

9:50~10:15

2) 山田 敏子(名古屋学芸大学)

「道徳教育の考察(Ⅲ) —子どもの幸せにつながる取組み事例—」

10:15~10:40

3) 岩田 弘志(熊本県阿蘇市立一の宮小学校)

「ホーマーT. レーンとフレーベルの自己活動の思想との関連
Homer rane A biography の分析を中心に」

10:40~11:05

4) 馬場 洸志(愛知教育大学・静岡大学 共同大学院)

「Community Engaged Professional の素養に関する理論研究」

11:05~11:30

5) 加藤 智(愛知淑徳大学)

「サービス・ラーニング・コーディネーターの役割と専門性」

・11:30~12:00 総括

公開シンポジウム

「現代のアメリカにおける教師教育の展開

- 日本の『学び続ける教員像』への示唆 -」

近年、「教職生活全体を通じて、実践的指導力等を高めるとともに、社会の急速な進展の中で、知識・技能の絶えざる刷新が必要であることから、教員が探究力を持ち、学び続ける存在であることが不可欠である。」と指摘され、「学び続ける教員像」の確立が求められている（中教審答申「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について」2012）。

これを受けるかたちで、馳プラン(2016)、及び教育公務員特例法の改正(2016)等、教師教育をめぐる新たな制度策定の動向があり、加えて、全国的にも、ほぼ教職大学院の設置が終了した(2017)。「国立教員養成大学に関する有識者会議(2017)」が指摘するように、日本の教師教育の高度化は新局面を迎えている。

しかし、特に日本の教育系大学院の社会的浸透については、インセンティブ（給与昇給、管理職への昇進等）が不十分なこともあり、現段階においては、望ましい展開を未だに模索中であると概括できよう。

そこで、本学会のアメリカの教師教育学の知見から、日本の教師教育（大学院の教師教育・行政の教員研修・校内研修等）への示唆を得る上で、本公開シンポジウムにおいて4名の登壇者を迎え、多様な視点からの研究成果をご報告頂くこととした。

まず、最初の登壇者として、日米の校長リーダーシップ研究の権威者であり、教育経営学の多領域をリードしておられる露口健司氏にお願いした。

次に、倉本が、教職大学院と博士課程をつなぐ議論が高まる中、アメリカのEd.D.プログラムを参考に、カリキュラム・指導方法等を提案する。

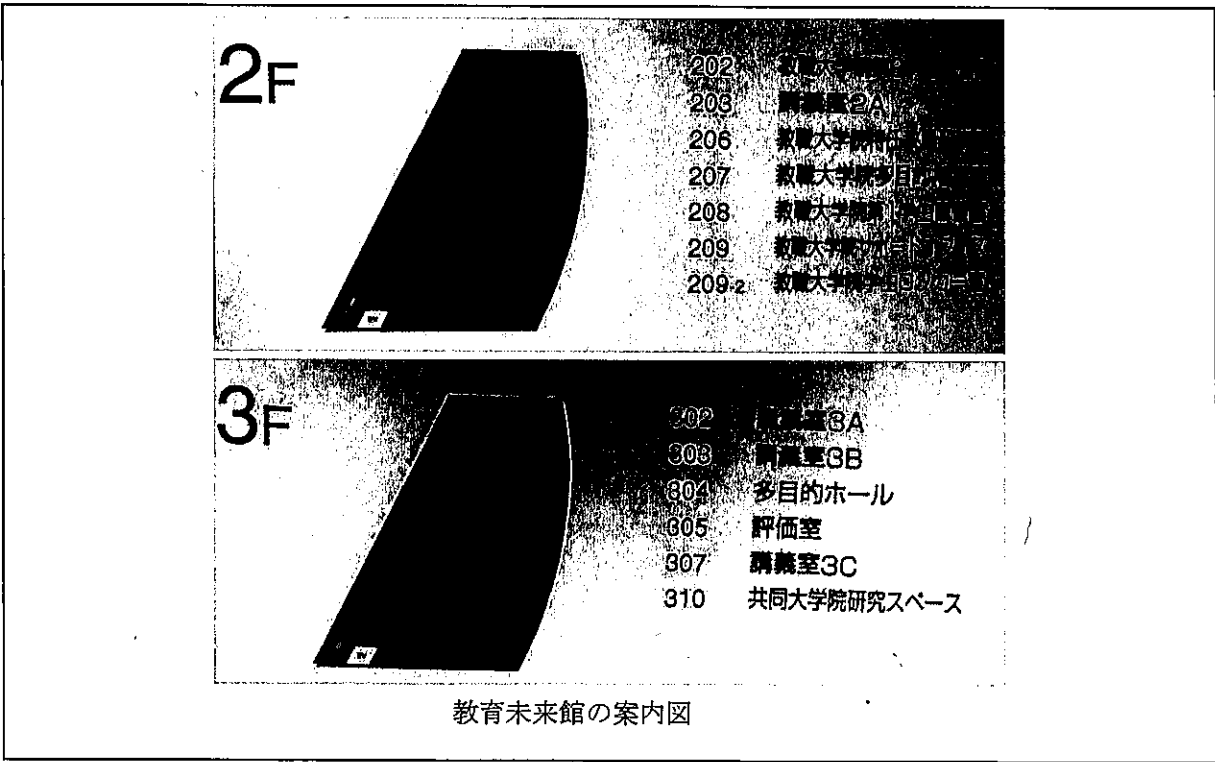
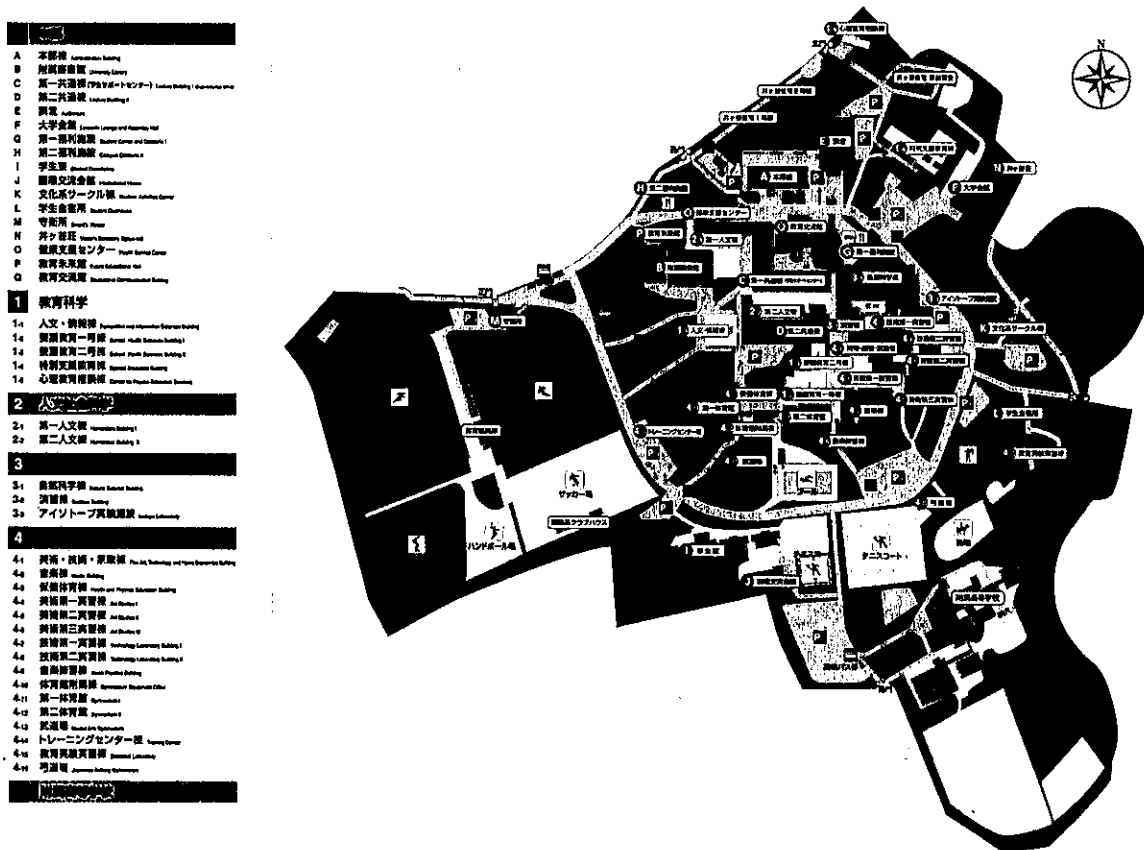
これらの論調を総括する観点から、本学会/代表理事の八尾坂修氏が、アメリカの校長・教育長免許養成政策の新展開について論じていく。

更に、3者の論調を踏まえながら、文部科学省・福島哉史氏に、「日本の学び続ける教員像」等について、コメンテーターとして総括をして頂き、同時に、司会の中野真志氏のリードで、フロアとの質疑応答で議論を深めていく。

以上の観点から、本公開シンポジウムでは「アメリカにおける教師教育学の現代的展開 - 日本の『学び続ける教員像』への示唆 - 」と題することとした。

(文責・倉本哲男)

大会会場建物配置図



アメリカ教育学会第 29 回大会発表要旨集録

2017 年（平成 29 年）10 月 28 日発行

発行者 アメリカ教育学会第 29 回大会準備委員会

委員長 倉本 哲男（愛知教育大学）
副委員長 中野 真志（愛知教育大学）
委員 加藤 智（愛知淑徳大学）
委員 浅田 知恵（愛知教育大学）
事務局 磯部 征尊（愛知教育大学）
趙 卿我（愛知教育大学）

大会実行委員

準備委員会事務局
愛知教育大学 未来館 2F/3F
〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢 1
